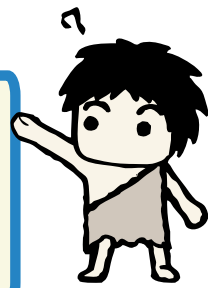


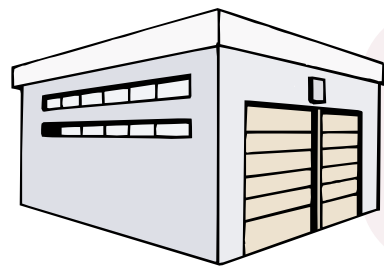
# ごみのゆくえ(資源)

今回は衣類を取り上げました



十数年前まではリサイクルの優等生で高値で取引されていた古着等は、近年では劣等生となってしまっており、全国で約60~90%の古布が焼却処分されているといわれています。

西秋川衛生組合(高尾清掃センター)



ウエスとは、もともと古着屋古布を再利用されたもので主に工業分野で、機械設備を整備するために利用されている。最近では、パルプで出来たウエスや不織布の使用が多く見られます。



平成20年度あきる野市収集量440t

ウエス

工場の機械を拭く工業用ぞうきんのこと。Tシャツや肌着がカットされます。

古紙問屋

中古衣料

中古衣料として主に東南アジアへ輸出されます。

反毛

もう一度せんに戻して軍手に加工されたりフェルトになります。

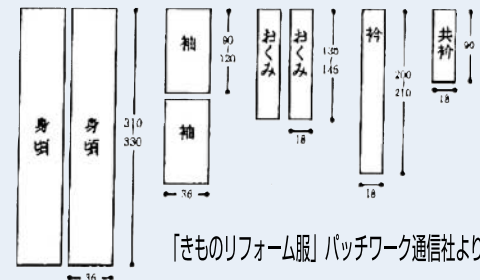
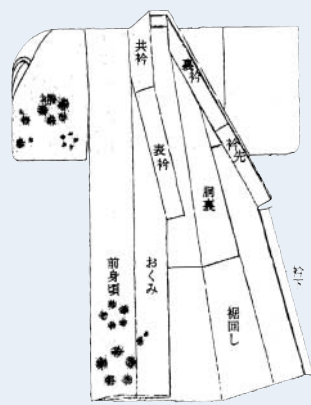
## 先人たちの知恵が生み出した「きもの」

きものは本来、洗い張り、染め替え、仕立て替えるのを前提に工夫された衣装で、きものとして機能しなくなったら、下着や裏地、布団など別のものにリサイクルされ、最後の最後は裂いてハタキにしていたそうです。使える限りとことん使いきるといのが、先人たちの知恵が生み出した、きもの本来の姿なのです。

衣料は、資源ごみとして処分する前にできるだけリユースする事が重要です。

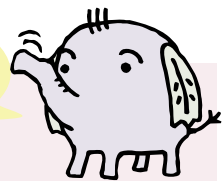
着ないからといってすぐに処分するのではなく、リフォームしたり、フリーマーケットやバザー、リサイクルショップなど、再利用(リユース)しましょう。

(HM)

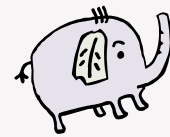


きものをほどこいて出来たパーツが上ようになります。長さは身頃の寸法によって多少前後します。羽織など一部のきものを省いた幅の基本は、反物の並幅(約36cm)、衿やおくみは半分の平幅(約18cm)です。

昔はエコ生活をしてたんだソウ



ちょっとまって!! すぐに捨てないで



## まだまだ工夫できるかも

今の世の中、不景気といわれている。でも、リユース、リサイクルには、もってこいの時代でもある。昔から使われ、世界共通語になりつつある“もったいない”という言葉、生かしていきたいものだ。

### 掃除のときに

- 古くなった👞などは、窓ふき、床、網戸の掃除に、手にはめて使う。
- モップを使う時にも、靴下の甲の部分にハサミを入れて、包みこんで使う。
- 習字の使用済半紙は、風呂場、洗面所などの排水口のゴミとりに使う。
- ストッキングは、台所、排水口や三角コーナーのゴミネットとして。

### その他

- プラスチック容器(豆腐、菓子など)はできるだけ小さく切ったり重ねたりしてゴミ箱へ。
- 洗剤などのチューブはなくなったあとも、切って、中身を使用(結構残っている)
- 窓付封筒の再使用(お金、写真、領収書などよくみえて便利)
- 布巾がわりにティッシュを使わない。(日本人のティッシュ使用量は世界一)
- オムツは紙から布へ。

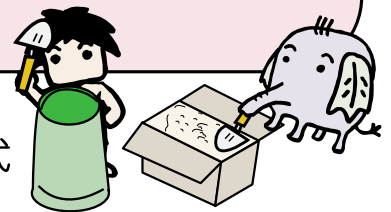


日本人のティッシュ使用量は一年で(200枚入り)18箱だって

### 食について

- マイはし  
マイボトルを持つ。
- フィルターは自分で(ガーゼ)作るか、布フィルターを使う。
- 卵の皮  
干して、風呂に入れたり、ふりかけとして
- 大根葉「かきあげ」  
「いためもの」で食べる
- 生ゴミは  
水切りして、新聞紙に広げ乾燥させてから出す。  
あるいは、プランター鉢などの土にまぜる。

コンポスト方式



ダンボール方式

ムズムズした赤ちゃんをトイレに。オムツは殆ど汚さないお母さんもいますヨ



(OY&KA)